



料金後納  
郵便

転送不要

## 肺がん検診のお知らせ

一年に5分ください。



### テレビ番組のご案内



がん検診受診率向上<希望の虹プロジェクト>  
静岡社会健康医学大学院大学 溝田友里准教授が制作に協力!

NHK あしたが変わるトリセツ「がん対策のトリセツ 第2弾」  
2025年9月18日(木)総合 19:30~放送予定

入間市も参加しています



入間市が検査費用を負担します。※1

### ■対象者

入間市在住の16歳以上の方

### ■受診期間

令和7年6月1日~

令和8年2月28日まで

例年、受診期限が近付くと大変混み合います。お早めにご予約、ご受診ください。

### ■検査費用

肺がん検診は全額自己負担の場合5,000円程度かかりますが、市が検査費用を負担するため、自己負担 0円で受診できます。

検査費用 約5,000円

- 市負担金 約5,000円

自己負担金

0円

※1 現金が支給されるわけではありません。

## 肺がん検診の流れ

### 1. 健康福祉センターに申し込む

市公式HPに掲載されているリストから受診する医療機関を決めて、下記の方法でお申し込みください。

詳しくは

入間市がん検診

検索

申込方法

- ①ネット申込(指定医療機関で受診の場合)→
- ②成人健診予約専用電話 04-2966-5520



指定医療機関受診用  
申込フォーム

### 2. 受診券が届いたら予約し、受診

受診券が届きましたら医療機関に直接予約し、受診してください。

- 受診内容
- ・問診
- ・胸のレントゲン撮影
- ・喀痰(かくたん)細胞診(問診により必要な方のみ)

### 3. 結果

約1~2か月後に自宅に郵送されます。検査結果を確認してください。

検診で「要精密検査」となった場合は、その後必ず精密検査を受けてください。

精密検査は CT、もしくは気管支鏡検査などです。

※ 職場等でがん検診を受診する機会がある方は受診をご遠慮ください。

※今年度、既に受診済の場合、このハガキは行き違いです。ご容赦ください。

※再検査をした場合、その結果情報は市と各医療機関で共有されます。

肺がん死の2人にひとりは、  
たばこが原因とは  
いえません。

喫煙者でも受動喫煙者でも  
ありません。<sup>\*</sup>



\*Inoue M et al. (Ann Oncol 2012;23:1362-1369) をもとに推計

たばこを吸わなくても、肺がん検診を。

入間市 健康推進部 健康管理課  
〒358-0013 入間市上藤沢730-1  
TEL⇒ 04-2966-5511 FAX 04-2966-5514

POSTCARD

肺がん検診では、二重読影が  
国の基準で定められています。<sup>\*1</sup>

2人の医師が、  
別々にチェック。



胸部レントゲンのフィルムは、  
2人の医師がじっくり調べることになっています。  
これが、肺がんの影を見落とさないために  
国が基準で定められた、二重読影です。<sup>\*2</sup>

たばこを吸う人は、たばこを吸わない人に比べて肺がんで死する  
リスクが高くなり、たばこを吸う本数や年数が多いほど肺がんになりやすい  
という研究結果が出ています。喫煙者本人のみならず、禁煙によって  
ご自身と周りの人の健康な肺を守りましょう。

\*1 厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」

\*2 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つけられない場合もあります。

肺がんは、死亡数が  
男女合わせていちばん多いがんです。

■肺がんの死亡数 男性 第1位 女性 第2位

出典：国立がん研究センター がん情報サービス「最新がん統計」人口動態統計（2023年）

初期には自覚症状が  
ほとんどないのが、  
肺がんの怖さです。



自覚症状がないので、  
初期の肺がんは検診でなければほとんど見つかりません。

早期に  
発見すれば、  
生存率が  
高いがんです。



早期に発見するために、自覚症状がなくても  
検診は毎年定期的に受けことを強くお勧めします  
ただし、血痰、長引く咳、胸痛、声のかれ、息切れなどの  
症状がある場合は次の検診を待たずに医療機関を受診してください。

\*3 ここでいう「生存率」とは、診断時からの5年純生存率（ネット・サバイバル）です。  
純生存率は、「対象となるがんのみが死因となる場合」を推計した生存率です。  
院内がん登録生存率集計報告書においても、2014-2015年5年生存率から、相対生存率に  
代りこの方法による純生存率が採用されています。  
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録生存率集計」（2015年診断例）  
5年ネット・サバイバル

このはがきは、がん検診受診率向上く希望の虹プロジェクト>が作成しました。